

# 令和7年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

令和7年度の幼稚園評価は、例年に引き続き「自信をもって勧められる園づくりを目指して④～創立100周年へ向けて～」をテーマとして掲げ、教職員それぞれが自己評価を実施いたしました。

就労に対する男女共同参画社会が推進され、認定こども園や保育園への入園希望者が増加している昨今、そして少子化も急速に進行しており、改めて幼稚園の存在意義が問われています。令和10年12月12日に創立100周年を迎える高田幼稚園としては、今後も地域の幼児教育振興・発展に寄与すべく、幼稚園評価を通して職員一人ひとりが自らの教育・保育活動や園運営を振り返り、現状を見つめ直す機会としました。そして、それぞれの評価結果について皆で話し合うことにより、成果や今後の課題・改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を受け止め、今後更なる「教育活動の充実・教育環境の整備・教職員の資質向上」に努めてまいります。

## I. 教育理念

当園は、真宗高田派本山専修寺の園として、宗祖 親鸞聖人の御教えのもと以下の心（生きる力）を育てています。  
「あいさつ」「掃除」「礼儀」を実践する心（利他奉仕）・自らを尊び、また他を尊ぶ心（感謝）・「和顔愛語」を実践し、日々の生活を楽しく柔軟に過ごす心（希望）・自然や生き物に興味・関心を持ち、探求する心（好奇心）

本山参詣、園での仏教行事、日々の生活を通して阿弥陀如来(ののさま)・親鸞聖人の御教えを聞き、園児・教職員ともに「なもあみだぶつ」（ごめんなさい・ありがとう）と手を合わせることから始まる一日。集団での「あそび・運動・表現・音楽・製作・英語・行事・地域交流」等、様々な体験を通して「主体性」「意欲」「基本的生活習慣」「創造力」「想像力」「発想力」「コミュニケーション力」「運動力」など、「人生の土台・基盤」となる要素が育まれます。子どもたちが自ら考えることを楽しみ、表現することを喜び、その中で自分のことも相手のことも信頼し、尊重し、相談し、選択し、決定できるよう教育環境を整え、一人ひとりの姿に応じた教育・保育を行っています。子どもは集団生活を通して「ありがとう」「ごめんなさい」の心が育まれ、互いに受け止め認め合う中で、のびのびと「自分らしさ」を発揮できるようになります。園生活の中で好きなことや得意なことを発見し「幼稚園ってたのしい!」「明日も幼稚園にいきたい!」と、子どもにとって「安心できる場所」「あたたかい場所」であり続けることを園の理念としています。

## II. 今年度の重点目標

自信をもって勧められる園づくりを目指して④～創立100周年へ向けて～

## III. 評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み状況
自信をもって勧められる園づくりを目指して④	1 創立100周年へ向けて具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (教育理念・教育・保育の側から)	上記に掲げた教育理念を土台に「教諭主体の教育・保育」から「園児主体の教育・保育」へと大きく舵を切った。その成果は、日々の園生活を始め、特に2月に行われた生活発表会において顕著に表れていたと思う。「先生主導のカリキュラム」ではなく「目の前にいる子どもたちの思いが尊重・実現」された内容だった。すべての教職員が、当園に対し地域・保護者が抱いているイメージに応える（守る）ことよりも、園児一人ひとりの発達・成長からカリキュラムを再構築していく姿勢を持つことができた。園児の姿から、教育理念が現場で実践されていることを確認した。「幼児教育」=「生きる力の育成」と考えるならば、幼稚園としての本分を全うすることができたと思う。
	2 創立100周年へ向けて具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (「給食室」施設整備について)	「給食室」（園舎内改修による新設）施設整備が完了し、6月から稼働することができた。調理は株式会社ミールケアへ委託。給食を外部搬入から自園調理に変えたことで、当園の「食」に対する意識が劇的に変化・向上したと思う。一例として、これまで「給食を食べたくない」と登園を渋っていた園児が「給食おいしい。給食を食べたいから幼稚園に行きたい」と登園するようになった。これはただ単に「子どもが変わった」のではなく、教職員や保護者が自園調理の給食を楽しみにしている（前向きにとらえている）ことで、その雰囲気も子どもにも伝わった結果なのではないかと考えている。「何が何でも残さず食べさせなければならぬ」という向き合い方ではなく、「食事を楽しむ」という姿勢が、園児の安心につながったのだと思う。今年度は「食を通しての大切さを伝えなければ」という気持ちを一端置き、力まずに食を楽しむ環境を作ることに集中した。それが園児や保護者、教職員の安心と喜びにつながったのだと思う。また、給食室の取り組みなどをSNS等を使って外に発信した結果、次年度以降の園児募集にもつながったと感じる。

# 令和7年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

自己評価項目		取組み状況
自信をもって勧められる園づくりを目指して④	3 創立100周年へ向けて具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (「満3歳児保育室」施設整備について)	「満3歳児保育室」(園庭に建設)の施設整備が完了し、6月から稼働することができた。これまでは、満3歳児の保育は教室を使っていたが、今回、子どもの育ちに合った保育室を作ったことで園児がより安心して過ごせたように思う。この時期の一年に安心してのびのびと過ごせる環境で生活した経験は、「自分らしさを発揮する」「様々なことを主体的(積極的)に挑戦・経験しようとする意欲を育む」という視点から、その後の園生活・教育に大きな影響を与えると期待している。また、満3歳児保育室の新設と日々の保育の様子を、SNS等を使って外に発信した結果、次年度以降の園児募集にもつながった感がある。当園は認定こども園と違い満3歳児クラスが最年少の学年であり、園の窓口となっている。保護者から見て「入園したい」と思える魅力的なクラス運営を行い、入園につなげ、園の経営を安定させるためにも施設整備は必須だったと考える。
	4 「働き方改革」に、具体的にに取り組むことができたか。	今年度、当園が取り組んだ「働き方改革」は以下の通り。 【①】タイムカードを導入した。これまで当園は、各教職員が出勤表に手書きで出勤時間を記入していた。より正確に出勤時間を把握するためタイムカードを導入した。このことによって、個々の働き方がより数字として見えるようになった。(続きは③へ) 【②】保護者へ、教職員への電話等問い合わせの時間を16:20までにしてもらうよう「園だより」を通して伝えた。当園は教職員の基本的な勤務時間が16:30(早番・遅番は除く)なので、定時で退勤できるように進めた。緊急の場合はこの限りではないが、保護者の理解と協力を得ながら、概ね定時に帰ることのできる態勢は取れるようになってきたと思う。 【③】残業時間の正確な把握と、残業代の支払いについての計算方法等を見直した。①でのタイムカード導入によって、各教職員の残業時間を正確に把握することができた。そこで改めて労働基準監督署に相談しながら法令を確認し、残業代が正確に支払われているかをチェックし、見落としがあれば改めて支払うという取り組みを行った。幼稚園教諭は残業を把握しにくい業種であると言われてきたが、給与は残業代等も含め適正に支払われてこそ健全に働くことができ、ひいてはそれが「教育・保育の質向上」につながると考えた。 【④】ライフワークバランスの意識を高めることができた。「残業代を支払えば残業させても良い」ということではなく、あくまで「必要以上の残業はしない・させない」ことを目標に業務を行うことができた。「奉仕の精神」を押し付けることなく、雇用者と教職員が対等な関係として在り続けるためのスタートを切ることができたのではないかなと思う。 【⑤】業務内容等の見直しを行った。教職員から「意見・要望」を募集し、当園の教育・保育現場の実態を把握した。ライフワークバランスの意識を高めた上で、定時で退勤することを目標に、定時で退勤できない原因は何かを教職員間で話し合うことができた。
	5 防災・防犯、園の安全対策についての取り組みを行い、その内容を保護者や地域に周知することができたか。	地震や火災を想定しての避難訓練を全学年合同で毎月行い、不審者訓練も年に2回行った。地震や火災についてはワンパターンに陥ることなく、様々な想定で行うことができた。園舎や園庭、高田本山等比較的安全な場所のみではなく、避難時に実際に道路を歩き、横断歩道を渡る練習も行った。また特に年長児クラスに関しては、園外へ出る際はなるべく道路を歩き、避難時につながる経験を深めることができた。教職員が手薄になる「預かり保育時」の避難訓練も年2回行うことができた。訓練後は、各教職員が互いに話し合いながら感想・反省を書き出し共有。次回への課題抽出を行った。 これからの活動は写真等を使い、ホームページやSNS(Instagram等)他インターネットを活用し広く発信することで、保護者や地域に周知することができた。 AED訓練は年度内に行うことができなかった。(4月実施予定)

## IV. 園の評価

A : できた

B : おおむねできた

C : できなかった

B	<p>学校</p> <p>評価の主旨をよく理解し、すべての教職員それぞれが考えを出し合い主体的かつ積極的に取り組むことができた。また、個々で深めた取り組みを教職員間で共有・実践することにより、チームとしても取り組むことができた。その結果、各項目についてはおおむね達成できたと評価している。</p> <p>来年度以降も取り組みを続け、その中でより具体的に課題を抽出し、さらなる質の向上を目指す。いよいよ100周年も近づいてきたので、100周年事業に関しても具体的に計画し進めていきたい。</p>
---	--

# 令和7年度 幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人 専修学園  
高田幼稚園

## V. 今後取り組むべき課題

自信をもって勧められる園づくりを目指して④	1	創立100周年へ向け具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (教育理念・教育・保育の側から)	来年度も、今年度の取り組みを継続する。 当園は、教育理念を基に「待つ教育・保育」「心の余裕を持つ教育・保育」「教育・保育を語れる教職員を目指す」を目標としている。そのためには園として、また個々が幼児教育を学び続けなければならない。ただ実際には、日々の業務に追われてその時間を作ることができていないのが現実である。教職員の負担にならないよう、来年度はさらに研修の機会を作るなど「楽しんで学ぶことのできる」環境を作っていきたい。
	2	創立100周年へ向け具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (「給食室」施設整備について)	来年度も、今年度の取り組みを継続する。 給食室を最大限に活用し、「食」を通して充実した教育・保育に取り組んでいきたい。 「食」を楽しむ子どもたちの姿は、教職員に「幼児期の教育・保育の要が何か」ということを常に振り返る機会を与えてくれると期待している。 また、そういった環境の中でいきいきと育まれている子どもたちの姿を当園の魅力として外へ発信し、次年度以降の園児獲得にもつなげていきたい。
	3	創立100周年へ向け具体的に「自信を持って勧められる園づくり」に取り組むことができたか。 (「満3歳児保育室」施設整備について)	来年度も、今年度の取り組みを継続する。 上記取り組みにもあったように、両親の就労により多くの家庭が保育園・認定こども園の0～2歳児クラスから利用している現状の中、当園は満3歳児クラスが最年少の学年であり園の窓口となっている。多くの乳児はその年齢にはすでに他の園に在園している可能性が高いという不利な状況の中、「教育的・保育的」両面において「子どもを入園させたい」と思える魅力的なクラス運営を行い、その内容を外へ発信することは必須となる。今後もそういった取り組みを積極的に実践し、入園につなげ、園の発展を狙い、経営の安定を図りたい。また、そういった意識を教職員皆で共有し、高めていきたい。
	4	「働き方改革」に、具体的に取り組むことができたか。	来年度も、今年度の取り組みを継続する。 教育・保育現場の人員確保に努め、教職員一人ひとりの負担を減らす。 「残業を減らす」とことと「業務をスリム化する」ことをセットとして考え、取り組む。 仕事は人が生きる中で大切な要素ではあるが、仕事のみで人生を捧げるのではなく、仕事を通して人生が豊かになることを目指し、教職員がライフワークバランスを実践できるよう支援したい。
	5	防災・防犯、園の安全対策についての取り組みを行い、その内容を保護者や地域に周知することができたか。	来年度も、今年度の取り組みを継続する。 その上で警察・消防等の専門家にも相談し、意見を取り入れ、内容の向上に努めたい。 また「訓練を成功させる」ための時間ではなく、実際に災害が発生した際に最良の対応ができるよう「訓練の失敗から学ぶ」姿勢を教職員に改めて周知したい。 AED訓練は、来年度4月に実施する。

## VI. 学校関係者の評価

A : できた

B : おおむねできた

C : できなかった

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも「子ども目線」であたたかく、「もう一つの家庭」とも思えるような幼稚園運営に、保護者としてとても感謝している</li> <li>・先生たちが心身ともに健康でなければ、子どもたちが安心して過ごせない。子どもたちの笑顔につなげるためにも「働き方改革」を応援したい</li> <li>・理想を求めることは幼稚園や教育の発展のために必要なことだが、職員の負担にならないようにバランスを考えて進めてほしい</li> <li>・IT化が進み、園からのお便りがパソコンによるものであったり、業務の効率化によって「手書きの年賀状」等が廃止されたりと、事情は理解しているが、先生たちの文字に触れる機会が減ったことを寂しく思う</li> <li>・降園時に設けられている「迎え時間」の枠が短いように思う。小さな子どもを連れていっている中で、焦って動くことがあると危険なので、もう少し時間の余裕がほしい。また、土曜日(半日保育日)の降園時間に、駐車場で大渋滞が発生している。迎えの車が駐車場に入れず地域にも迷惑をかけているので、何とか策を講じてほしい</li> <li>・給食室の施設整備は素晴らしい取り組みだと思う。業者・関係者皆さんの協力のもと、事故等が一切なく無事に竣工できて良かった。ぜひ、安心の食を通して子どもたちの人格形成へとつなげてほしい。また、給食提供に関しての事故がないよう、これからも真摯に取り組んでもらいたい</li> <li>・社会が大きく変化し「心の教育」や「心にゆとりを持って取り組める教育者」の大切さを痛感している。いつまでも、保護者の皆さんから信頼してもらえる園であり続けるように願う</li> <li>・創立100年の歴史を大切に。一光三尊佛御開帳とも関連付けて100周年を迎えるのも一つだと思う</li> </ul>
---	---

## VII. 財務状況・その他

公認会計士監査により、適正であると認められている。
---------------------------